

Web 会議システムの研究利用に関する注意事項

研究倫理審査委員会

Web 会議システム（以下、システム）を研究で用いる場合は、下記の事項に関して研究者自身および共に利用する者、双方について十分に考慮し、システムの選定および利用を行う必要がある。これを遵守することを研究の基本方針とする。そのため、下記の全事項を研究計画書に盛り込む必要はない。研究者はシステムを共に利用する者の特性や取り扱うデータ内容を考慮し、相手に提示・説明する情報や協力依頼内容・方法を検討して、研究計画書の立案・実施を行うこと。すでに承認を受けている研究計画を本件に関連して修正する場合は、変更届を提出すること。

尚、本学で導入している Web 会議システムの Microsoft Teams および Zoom を本学教職員および院生、学部生が研究目的で学外者を交えて利用する場合は、学内の関連するセキュリティポリシーを遵守すること。

1. システムの選定に関する注意：研究者が把握しておくべきこと
 - 1) サービス利用規約：サービス利用開始・キャンセル・終了方法、個人情報登録の有無およびその責任、通信内容に関する責任など
 - 2) サービス利用に関する個人情報登録内容およびその取り扱い
 - 3) サービス利用にかかる契約料金
 - 4) サービス利用の利便性・簡便性：アプリのダウンロードや利用登録の有無、利用可能な ICT ツールの種類、1 回あたりの利用可能時間、ビデオ通話・音声通話・録音・画面録画方法、利用方法のわかりやすさなど
 - 5) サービス利用に関するセキュリティ：個人情報保護、不正アクセス防止への取り組み、システムに付帯している録音・画面録画などのデータ保存場所とそのセキュリティ環境など
2. システムの利用に関する注意：研究者が配慮すべきこと
 - 1) 利用するシステム：共に利用する者に候補システムの名称を提示し、利用の承諾を得ること（研究計画書必須事項）
 - 2) 利用にかかる契約料金および通信費の負担者（研究計画書必須事項）
 - 3) オンライン通信環境下で開示する個人情報（音声・人物・背景など）：セキュリティ環境や個人情報保護、通信環境負担などを考慮して検討し、相手に承諾を得ること
 - 4) 不正アクセスおよび情報漏洩防止
 - ・システム利用 ID や PW、会議 ID ・ PW ・ URL ・ リンクなどは双方が他者に晒さないこと
 - ・ Free Wi-Fi（公共の場所、コンビニ、カフェ等で無料の Wi-Fi スポット。公衆無線 LAN と呼ばれる）は暗号化されていないか、暗号化されていてもセキュリティレベルが低いため、通信の盗聴・のぞき見・情報抜き取りの被害に合うリスクがあるため利用を避けること
 - 5) システムに付帯している各機能の利用制限
 - ・研究者がシステムの録音・画面録画機能を利用する場合は事前に説明して承諾を得ること（研究計画書必須事項）
 - ・共に利用する者も録音・画面録画機能を利用が可能な場合はそれらをしないように依頼し、承諾を得ること（研究計画書必須事項）
 - ・他人が映っている動画や写真などを本人の許諾を得ることなく使用することは肖像権の侵害にあたる。その動画や写真を不当な形に加工して公開してしまった場合は、その人に対しての名誉棄損にも相当する行為になる。
 - 6) システムを利用する ICT ツールのセキュリティ対策は最新の状態に更新されていること